

一般社団法人宮崎県理学療法士会第 50 回理事会（拡大）議事録

1. 理事会の種類 第 50 回理事会（拡大）
2. 召集年月日 平成 30 年 4 月 18 日（木）
3. 開催場所 宮崎リハビリテーション学院
4. 開催日時 平成 30 年 4 月 28 日（土） 15 時 50 分～
5. 出席者

役職名	出席（委任）	出席者氏名
理事	8 名（5 名）	中田、吉田、浜口、常盤、田村、湯地、猪倉、迫田、 （小川、大森、清水、井上、竜田）
監事	1 名	武田
事務局	3 名	高月、越智、加藤
部局長	19 名	柚木、貴嶋、伊藤、奥野、坂本、落合、矢野、上野、吉田、中原、大寺、 豊永、黒木、江上、石川、小川、前原、阿久根、財津

定刻に至り、高月事務局長より定足数の報告後、定款第 36 条 1 項に基づき理事会成立の旨を伝え、中田会長の挨拶の後審議に入る。

【審議事項】

■第 1 号議案：提出議題審議

1. シルバーリハビリ体操指導士養成講師認定講習会参加について
柚木委員長より説明がなされた。住民主体型介護予防事業（シルリハ）の推進において、協会より認定指導士養成のための研修会への参加が各県に問われている。現在、ステップ 1 修了者は柚木委員長と吉良局長の 2 名のみ。井上理事と平島局長が次のステップ 1 の研修会参加を表明している。どの市町村も既存の体操が入っているので、宮崎県内においてシルリハを持ち込めそうな市町村の調査が必要。協議の結果、リハビリテーション専門職協議会での協議や、長寿支援課などへ話をしておき、市町村から要望があった際にはすぐに動けるようにしておくことで承認された。
2. 大規模災害時の安否確認方法に関して
財津委員長より説明がなされた。大規模災害時における当県士会員の安否確認方法が決まっておらず、また発災後の県外からの支援の受け入れ体制なども必要と考える。JRAT との連携を考慮した安否確認方法の検討が必要と思われる。電話が繋がらないときの対応として、携帯電話アプリの LINE が有用ではないか。JRAT に PT、OT、ST 各県士会を合わせた LINE グループを作成してはどうか。協議の結果、当士会内での規約を作成し、その中でどのような連絡ツールを使用するかを検討する。具体的な内容については継続審議となった。（次回、財津部長叩き台の提案）

■第 2 号議案：平成 29 年度事業報告および決算報告について

事業報告にある基本事項の番号について、各部局によりばらつきがあるので統一をする。具体的に事業名がどの番号に対応しているのか、事業報告を依頼する際に事務局から各部局へ分かりやすいよう

伝達する。その他、多部署が関わって実施している事業についても名称を統一すること。
越智財務部長より決算報告がなされた。勘定科目に貸し倒れ損金を追加。未納者は未納退会となるので、損金扱いで支出として引いている。平成 29 年度は 34 万円ほどが回収不能となっている。収入に対する支出で計算し、今年度は 2,104,075 円が次期繰越金となる。資産合計は 16,317,526 円、負債合計は 6,864,338 円となり、差し引きの正味財産は 9,453,188 円となる。

武田監査より監査について報告がなされた。4 月 21 日に監査を実施。事業報告について、議事録は具体的に記載し、議事録や使用した資料なども添付すること。また、領収書の記載ミスや係印がないものもあるので注意。印鑑について、シャチハタは不可とする。その他、士会として外部に発行するものについては、理事会で精査することが必要と考える。日当については増額を含めた再検討が必要と思われる。各部署の事業報告と決算報告については、担当理事が一度確認をしてから理事会に提出すること。

平成 29 年度事業報告および決算報告、監査報告について承認された。

■第 3 号議案：平成 30 年度「宮崎県医療功労者知事表彰」について

今年度は該当者なし。

【報告事項】

① ダイハツ共同事業実施報告

石川ブロック部長より説明がなされた。4 月 17 日（火）宮崎ダイハツ株式会社 南店にて健康安全運転講座を実施。当士会より 3 名の会員を派遣。JAF1 名、ダイハツスタッフ 10 名（2 名は東京本社勤務）に加え、宮崎市役所からの視察あり。報道関係から 3 社ほど取材に来ていた。参加者は 21 名。全体的に活動的な方が多く、説明より運動を教えて欲しいという要望があった。今後は各県でオリジナリティーのある内容と、参加者の転倒やトラブルに備えた対策も必要。

② 平成 30 年度拡大組織運営協議会の報告

平成 30 年 4 月 7・8 日に TKP 赤坂駅カンファレンスセンターにて開催。理事会では平成 30 年度役員報酬額（案）、シンガポールで研究員の活動についてなどの話があった。また、理学療法ハンドブック（脳卒中・腰痛）の校正案については、今年度中の完成を目指すとのことであった。拡大組織運営協議会では、新生涯学習システムや会館建設に関する経過報告などについて説明があった。これらの審議事項は 6 月 2 日の定期総会で決議される。

【その他】

① 会員申請の承認

議事録署名人として議長及び理事を選出し、18 時 10 分に散会した。

上記の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人これに署名（記名押印）する。